

平成19年11月1日

社内募金737万円を

社会福祉団体など11団体へ寄付

朝日生命保険相互会社（社長 藤田 譲）では、毎年7月に当社および関連会社役職員による全社的な募金活動（「朝日の月釀金」と称しています）を実施しております。今年度も昨年に引き続き、役職員の募金に加え、当社のOBで構成される「朝日生命社友クラブ」からも募金を募り、それらに会社からの拠出金を加えた総額737万円を、社内の選考委員による投票で選ばれた社会福祉などの分野で活動する11団体（別紙参照）へ寄付し、役立てていただくことといたしました。

この「朝日の月釀金」は、昭和33年、当社の創立月である7月を「朝日の月」と定めたことをきっかけに、「生命保険事業の社会公共性に鑑み、社会事業にいささかなりとも貢献する」という趣旨をもって開始し、今年で50回目を迎えることとなりました。

これまでの釀金累計額は約2億8千5百万円になりました。

釀金の寄付先と金額（掲載は団体名50音順）

学校法人 愛育学園 愛育養護学校	67万円	財団法人 アイメイト協会	67万円
社会福祉法人 いのちの電話	67万円	特定非営利活動法人 幼い難民を考える会	67万円
財団法人 児童健全育成推進財団			
「朝日生命伸びゆく子ども基金」	67万円	財団法人 障害児教育財団	67万円
夏目雅子ひまわり基金	67万円	社団法人 日本自閉症協会	67万円
社会福祉法人 日本聴導犬協会	67万円	社会福祉法人 日本点字図書館	67万円
学校法人 日本豊話学校	67万円		

合 計 737万円

平成19年度「朝日の月」 釀金寄付団体一覧 (団体名50音順)

(学校法人) 愛育学園 愛育養護学校

知的障害をもつ子ども達が、自信をもって自分らしく生きていけるようになることを目指し、一人ひとりの子どもと丁寧にかかわる教育を実践している。幼稚部と小学部のみからなる日本では数少ない私立養護学校のひとつ。

(財団法人) アイメイト協会

視覚障害者が独立の精神を持って一般社会のなかで生活し、積極的な生き方が実現できるようアイメイト(盲導犬)による盲人の歩行指導および日常生活指導、歩行指導員の養成等の事業を行っている。

(社会福祉法人) いのちの電話

24時間体制で主に電話による相談援助活動を実施。全国42カ所のセンターでの電話相談の他、ファックスや面接による相談活動、情緒障害者のためのデイケアや「自殺予防のためのシンポジウム」の開催などを行っている。

(特定非営利活動法人) 幼い難民を考える会

内戦により難民となったカンボジア等の子どもとその親達が、人間らしい生活環境と必要な配慮のもとで暮らせるよう、保育者育成、保育所運営、教材・遊具づくり、織物指導等の活動を行っている。

(財団法人) 児童健全育成推進財団「朝日生命伸びゆく子ども基金」

同財団は、児童館活動の支援、児童文化向上のための活動等を幅広く行っている。「朝日生命伸びゆく子ども基金」は、それらの活動の一環として「児童福祉文化賞」表彰等の支援をする。

(財団法人) 障害児教育財団

障害のある子どもの全てが、教育の機会に恵まれ、その能力・状態に応じた適切な教育を受け、社会に参加していく能力を得ることを目的に、障害のある子どもの教育に関する研究調査、教育相談等の事業を行っている。

夏目雅子ひまわり基金

がん・白血病治療の副作用による脱毛に悩む患者に無償でカツラを貸し出している。女優の故夏目雅子さんの遺志を継いだ遺族により設立され、その活動はマスコミにも大きく取り上げられている。

(社団法人) 日本自閉症協会

自閉症児・者をもつ家族を中心に専門医とボランティア市民が協力参加して会を運営している。電話相談・面接相談事業、自閉症の調査・研究、療育キャンプ・研修会の実施等の活動を行っている。

(社会福祉法人) 日本聴導犬協会

聴導犬の育成を通じて、聴覚障害者への理解と聴導犬の普及促進、および障害者福祉の増進を図り、人間と動物の共存共生のできる街づくりに寄与することを目的としている。

(社会福祉法人) 日本点字図書館

盲人のための点字図書・録音図書の制作と無料貸出しを行うほか、盲人生活用具の開発と普及、中途失明者のための点字教室、視覚障害者用図書情報サービス等の事業を行っている。

(学校法人) 日本聾話学校

聴覚障害児の0歳からの早期教育と、先天性高度難聴の子どもに対する最新の補聴器を使った全人教育を行っている、わが国唯一の私立ろう学校。わが国ろう教育のパイオニア的な役割を担い続けている。